



SDGsは豊かな地球を守るため、って大きなテーマでなんだか難しい…けれどSDGsは経営課題を解決してくれる大切なキーワードなんです！近くの会社をのぞいて見れば、あれ、これもSDGsなんだ！小さなことでもまずはひとつ。SDGs、始めてみませんか？

ホテル日航姫路

SDGsへの取り組みで選ばれるホテルへ



所在地 姫路市南駅前町100 社員数 255名
代表者 総支配人 片岡 哲 TEL 079-222-2231
HP <https://www.hotelnikkohimeji.co.jp>

自社紹介とアフターコロナを見越したSDGsの取り組み

JR姫路駅から徒歩1分、世界文化遺産・姫路城を望む絶好のロケーションに位置する当ホテルでは、宿泊・レストラン・宴会・ウェディングなど、さまざまなシーンでご利用いただけるサービスをご提供しています。地元の魅力を感じていただけるよう、地域食材を活かした料理や、環境に配慮した取り組みを通じて、皆様に心地よくお過ごしいただけるホテルを目指しています。当ホテルではコロナ禍に、「ホテルとして何が求められているのか」を見つめ直し、SDGsへの取り組みを本格的に開始しました。特に海外からのお客様はSDGsへの関心が高く、ホテル選びの基準となる傾向もあります。こうした背景を踏まえ、当ホテルでは食品ロス削減やプラスチック削減など、持続可能な社会に向けたさまざまな取り組みを進めています。たとえば、地元農家から仕入れた規格外野菜をスープやソースに活用。客室アメニティにはバイオマス素材を採用しテイクアウトには木製カトラリーを使用しています。さらに、節水型シャワーへッドの導入や、CO₂排出量を実質ゼロにする「CO₂ゼロステイ」プランの提供など、宿泊体験そのものにも環境への配慮を取り入れています。

食用油を航空燃料に – Fry to Fly Project – への参加

SDGsの取り組みでも特に注力しているのが『SAF (Sustainable Aviation Fuel=持続可能な航空燃料)』です。SAFは使用済み食用油等を原料として航空燃料に加工したものです。環境負荷が少なく、従来の化石燃料と比べ、製造から使用まで最大約80%のCO₂排出削減が可能です。海外では導入が進んでいますが、日本ではまだ普及が進んでおらず、廃食油の多くを安価で輸出し、海外製SAFを高値で輸入しているのが現状です。こうした課題を受け、プラント建設業者や石油会社、廃油リサイクル業者が出資し、大阪堺市にSAF製造工場「SAFFAIRE SKY ENERGY」を設立。2025年から年間3万トン（東京→ondon間約700便分相当）の生産が始まっています。当ホテルは2024年7月より使用済み食用油等を航空燃料にする取り組み「Fry to Fly Project」に参加し、レストランや宴会等で出た月間250~300ℓの食用油を回収業者を通じて提供しています。これまで費用をかけて廃棄していた油を資源として活用することで、環境への負荷を減らしながらコスト削減にもつながっています。ホテル業界としてはまだ珍しい取り組みですが、地域資源を活かし、環境に配慮したホテルづくりを通じて、皆さんに安心してお過ごしいただける空間を提供してまいります。



ホテルの外観



客室
(エグゼクティブデラックスクラブツイン)



バイオマス製のアメニティ



廃食油回収の様子